

# アライグマはどこにいる？どこで捕まえる？

鳥獣害防除担当 湯村英明

県内の鳥獣による農作物被害はアライグマが最も多くなっています。被害を防ぐためにはアライグマを効率的に捕獲して個体密度を減らすことが重要です。そこでアライグマにGPS発信器を装着し、行動域を解析するとともに生息地点の現地調査を行いました。

GPSデータからねぐらや移動ルート・活動地点となる場所を把握し、ねぐらは水路の近く、移動には水路がよく使われていることが分かりました。

効果的に罠を仕掛ける場所を評価するため、アライグマの行動と環境要素をもとにした捕獲地点評価基準を作成しました。



図1 ねぐらの位置推定

アライグマの位置情報が集中している場所をねぐらや活動地点であると推定しました。

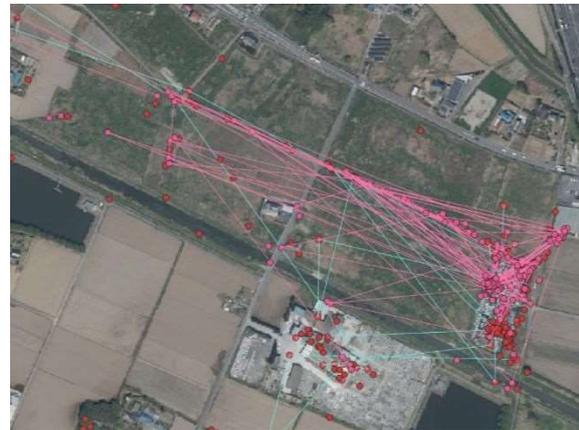


図2 移動ルートの推定

プロットされたポイントを線をつないだ遊動軌跡で移動ルートを推定しました。



図3 水路を歩くアライグマ親子